

明るいまち



迎春



2025年4月 修学旅行(東京都)

前途洋々
～新中3年生の皆さん

広げよう、
ふれあいの心でまちづくり





新年のごあいさつ

「おしゃべり」で朗らかな一年、

社会福祉法人

新篠津村社会福祉協議会
新篠津村共同募金委員会

会長 原田志郎

成されています。

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

コロナ禍で人との交流が制限された時期から数年が経ちました。が、近年は麻疹や百日咳、コロナに加え、特にインフルエンザの流行が猛威を振るっています。感染予防には手洗い・うがい・マスクの徹底や人ごみを避けることが推奨されていますが、これらはコロナ禍に経験した「三密」を思い起こさせます。

私たちの社会生活は人との交流を基本としており、社会から孤立した生活は望ましいものではありません。お互いに寄り添うことで円満な暮らしを保たれ、安心で安全な社会が築かれます。

健康維持や体調管理は基本的に自己責任ですが、決して容易な課題ではありません。村民が皆健康であることを目指すことも、福祉社会の重要な基本です。

社会福祉協議会の関係団体には、「ボランティア連絡協議会」があり、6団体と個人会員で構

令和7年度には、社協と共に初めて「地域食堂しんしのこ」を実施しました。本事業は、普

段は孤食で地域との交流が少なく、一人暮らしで交流を求めている方々を対象としています。事業実施には食事を用意するスタッフが欠かせません。温い手作りの料理を提供しつつ、「食べる」と「話すこと」を通じて交流の場をつくることを目的としました。その役割を快く引き受けたださったのがボランティア連絡協議会です。料理だけでなくおしゃべりによる交

流にもご協力いただき、おかげさまで事業は無事に成功裏に終了いたしました。改めて心より感謝申し上げます。

福祉事業は村民のご理解とご協力があつて初めて成り立ちます。今後も一層充実した福祉社会の実現に向けて努めてまいります。結びに、村民の皆様の一层のご指導とご協力を願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

あけまして
おめでとうございます

社会福祉法人 新篠津村社会福祉協議会
役職名（共募理事・監事 兼務）

会長 原田志郎

副会長 安藤京志郎

理事 畠山泰幸

副会長 原田志郎

副会長 安藤京志郎

令和8年 心配ごと相談所 ~開設日のお知らせ~

月 日	氏 名	選出区分
1月19日(月)	中村美和	民生委員
2月16日(月)	山本夕希	主任児童委員
3月16日(月)	安藤京子	民生委員
4月20日(月)	小林雅子	民生委員
5月18日(月)	福田喜美子	民生委員
6月15日(月)	谷口徹幸	民生委員
7月13日(月)	松永愛子	民生委員

毎月1回、第3月曜日(7月は第2月曜日)に開催しています。

どんなさいなことでもご相談ください。相談内容、個人情報は厳守いたします!相談料は無料です。

時 間 午前9:30~12:00まで

場 所 新篠津村保健センター

相談日の時間内のみ、直通電話でのご相談も受けております

090-9439-6550

赤い羽根共同募金に ご協力ありがとうございました

目標額1,118,000円 実績額1,233,291円 達成率110.3%
令和7年度 赤い羽根共同募金実績

募金総額 **1,233,291 円**

(内訳)	法人	100,000円
	団体・個人	303,625円
	イベント	23,710円
	学校募金	13,013円
	募金箱設置協力	44,208円
	戸別募金(各自治会)	626,200円
	ピンバッジ・その他	122,535円

(令和7年12月12日現在)



新篠津小学校

赤い羽根共同募金については、全額、北海道共同募金会に納入し、道地域目標金額を除いて村共同募金委員会に配分され、各福祉団体や社会福祉協議会の事業に使用されます。

歳末たすけあい募金に ご協力ありがとうございました

目標額460,000円 実績額380,427円 達成率82.7%
令和7年度 歳末たすけあい募金実績

募金総額 **380,427 円**

(内訳)	各自治会	361,800円
	団体・個人	18,627円



※歳末たすけあい義援金は次のように配分されました	
低所得世帯	15件 277,500円
在宅寝たきり高齢者世帯	1件 18,500円
在宅障がい者	4件 74,000円
施設(グループホーム)	1件 10,427円

(令和7年12月12日現在)

あたたかな善意をありがとうございます

令和7年9月21日から令和7年12月20日までに
ご寄付をいただいた方々は、次のとおりです。

【香典返し寄付】

- 中條 久子 様 (かつら) 30,000円
- 林 アヤ 様 (中篠津) 100,000円
- 山本 俊英 様 (ふらわ) 60,000円
- 野村 春美 様 (江別市) 30,000円

ご遺族の方々に心より哀悼の意を表し、故人のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

【一般寄付】

- 北海道信用金庫ひまわり財団 様 (札幌市) 100,000円



【物品寄贈】

- 北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社 様 (岩見沢市) 清涼飲料水 240本

岩見沢支店長
鈴木様より贈呈

皆様のご厚意に深く感謝申し上げますとともに、
地域福祉の推進のため使わせていただきます。



新篠津支店長
藤井様より贈呈

令和7年度研修旅行レポート

新篠津村社協および各関係団体の令和7年度研修を実施しました。



● 新篠津村社会福祉協議会

10月20日(月)から21日(火)の日程で当社協の役職員視察研修を実施いたしました。今回は、改選期により新理事を含め11名が参加して、先進地社協である十勝の士幌町社協の日常生活支援事業等の内容について学んできました。



● 新篠津村ボランティア連絡協議会

10月6日(月)、小樽にて視察研修を行いました。小樽運河クルーズや小樽駅周辺の散策、最後に住吉神社にお参りをしました。



● 新篠津村老人クラブ連合会

9月3日(水)に美唄市方面へ研修旅行を実施いたしました。村老連会員の皆さんのが健康の秘訣は、積極的に活動して、良く笑い、良く食べる事。宴会ではカラオケ大会で盛り上がりいました。



● 身体障害者福祉協会新篠津村分会

身体障害者手帳を持っている方が対象となります。今年度から賛助会員も募集しております。研修旅行や情報交換の場として食事会をするなど、楽しく活動しています。6月30日(月)に支笏湖方面に行ってきました。



● 新篠津村遺族会

新篠津出身で日露戦争や太平洋戦争で戦死された方の遺族の会です。

10月30日(木)に北海道護国神社に参拝し、御英靈の御靈(みたま)に祈りを捧げてきました。





「トクナリ」氏
歌謡ショー

11月15日(土)に「第1回新篠津村赤い羽根共同募金チャリティーカラオケ大会」を自治センターで開催いたしました。

当日、会場には200名近い方が観覧に来てくださいました。17名の“のど自慢”と“トクナリ”さんのゲスト歌謡ショーに大盛り上がりでした！

2階ロビーでは、「のつつ野菜」さん、「ほのぼの会(中央老人クラブ)」さん、「しんしのつごはん こめっさく」さん、栗沢のパン屋「グランエソール」さんによる軽食等の販売や、こども縁日、共同募金ブースの賑わいによって、大会をさらに盛り上げていただきました。

あらためて、大会にご協力いただきました関係者の皆様、そしてご出演、ご観覧の皆様に心より感謝を申し上げます。お陰様で、大会収益(協賛金、入場チケット)から、23万円を新篠津村共同募金委員会に寄付をさせていただきました。

最後に、大会終了直後から第2回大会を望む声をたくさんいただいてあります。実行委員会で協議をした結果、ご要望に応えて、令和8年11月14日(土)に第2回大会を開催することを決定いたしました。新年度に入りましたら、随時、情報を伝えしますので、楽しみにお待ちください。



★ Kids コンタクト ★



スマホフォト教室



元気カフェ



木育ランド

「親子のあそび場」には、自由に遊ぶ「ここにこひのひば」、テーマに沿って遊ぶ「わいわいひのひば」の他、「ベビーマッサージ教室」や、お茶を飲みながら子育てについておしゃべりする「子育て元気カフェ」があります。

「ベビーマッサージ教室」では、10月にスマホを使ってお子さんの写真を100倍かわいく撮る方法を学ぶ、フォトレッスンを行いました。最初に普段の撮り方でお子さんを撮り、レッスンを受けた後にもう一度撮つて見比べると、全く違うと参加者の皆さん驚いていました。他にも、12月はクリスマスフォトイベントを行い、1月には、バレンタインフォトイベントの計画もあります。

「子育て元気カフェ」は奇数月に行っており、心理士の先生や参加者の皆さんと、提示したテーマについておしゃべりを楽しめます。テーマは「家事と育児」や「ネットとの付き合い方」「絵本について」等多岐にわたり、思い思いに話することで、お互い共感しあったこと、心理士の先生から育児についてのヒントをもらったりと、ママ達からはとても好評です。

この他に、11月に行われた「もつとわくわく木育ランド」は、木のおもちゃで楽しそうに遊んでいるお子さんたちでいっぱいでした。「わいわい」は未就学児のいるご家庭が対象ですが、大人だけの参加もできる講座もありますので、気軽にご参加ください。

「子育て元気センター」「わいわい」という言葉が、多くの子育てママたちの間で広がっています。この言葉は、子育て中のママたちが、互いに情報交換したり、交流したりする場所として、地域社会で重要な役割を果たしています。



募金活動の一環として毎年制作しております、赤い羽根共同募金の「当地ピンバッジ」の令和7年版が完成しました。今回も新篠津中学校にてデザイン協力をしていただきました。共同募金委員会による審査の結果、最優秀賞に白岩楓菜さん（1年）のデザインが採用されました。



次回の社協広報は
7月1日
発行予定です



ワンポイントメモ

「おへすり手帳使ってますか?」

保健師 勝藤 裕子 氏

通院時に必ず持つていて、どこかにしまったままであまり使っていない方などお薬手帳との付き合い方はさまざまだと思います。

私も以前は忘れることが多かったのですが、最近は通院先や服薬数も増え病院や薬局でお薬手帳を確認される機会が多くなり、持ち歩くようになりました。

お薬手帳には飲んでいる薬や通院先（診療科）が記録されるため、受診の際に持参することにより同じような効果のある薬の重複処方や飲み合わせが悪い薬の処方を防ぐことができます。

ただし、いろいろな病院に通っている方の中には、銀行の通帳のように病院ごと・薬局ごとにお薬手帳を使い分けている方もいらっしゃるのですが、その場合は病院や薬局ではその人が飲んでいたり薬の全体像がわからないため、同じような薬が複数の病院から出されてしまう可能性があります。薬が重複したり増えすぎないようお薬手帳は1冊にまとめましょう。

最近では、スマホ版お薬手帳もありますので、紙の手帳よりも持ち歩きには便利かもしれません。それぞれのライフスタイルに合わせてお薬手帳を上手に活用するといふことをお勧めします。

明るいまち

No.122

令和8年1月1日

発行者
社会福祉法人 新篠津村社会福祉協議会
TEL 0126-58-3335・FAX 0126-58-3356
ホームページ:<https://www.shinshinotsu-shakyo.jp/>
068-1100
石狩郡新篠津村第47線北13番地
(保健センター内)
印刷 株式会社組合印刷



この広報紙は、共同募金の配分金をうけて発行しております。